

「VMware Horizonによるアプリケーションの配布は操作性やレスポンスがよく、Webアプリケーションを違和感なく使えるところがポイントとなりました。外部から安全にアクセスできる環境が整い、外勤スタッフの業務効率とモチベーション向上に繋がっています。将来的にはVDIへの拡張も検討しており、その点でも最適なソリューションと捉えています」

株式会社ファミリーマート
高森 卓氏

カスタマープロフィール

「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のスローガンで知られるコンビニエンスストアチェーン。2015年度より「Fun & Fresh」という戦略テーマを掲げ、お客様の新しい生活を創り出す、品質ナンバーワンの“次世代CVS”の実現に向けて取り組んでいる。店舗の開拓や店舗運営のサポートを担う外勤スタッフの“ワークスタイル変革”が、目標に向けた重要なキーワードの1つである。

せん。セキュリティ対策のため、システムへアクセスするWebブラウザを限定したり、端末側にデータを残さないようにしたりする仕組みも必要でした。

当初は、比較的安価な「コンテンツ変換」の仕組みによる、iPadの標準ブラウザでも利用できるようにすることも考えました。しかし、コンテンツ変換には細かなカスタマイズが必要で、多数のアプリケーションを改修するためには手間もコストもかかります。今後もシステムを拡張していくことを考えると、現実的な解決策ではないと捉えられました。

そこで検討されたのが、“アプリケーション配信”の仕組みでした。この仕組みなら、アプリケーションの改修は不要で、使い勝手も大きく変わらないため、スタッフに負担をかける心配もありません。

そして、同社がこのソリューションに関して、他社製品も含めて検討した結果、最終的に選んだのはVMware Horizon 6でした。

「比較検討の中で、本番環境に近いテスト環境を構築し、アプリケーション配信のレスポンスや操作性など総合評価したところ、VMware Horizonは、最も重要な操作性とレスポンスですぐれていました。また一方で、当社では、現在利用しているPCの入れ替えも、順次発生していくことがわかっていました。将来的には、必要に応じてVDI環境を提供して、タブレットを標準的なIT環境として提供したいと考えていて、VMware Horizonは、VDIとして高い評価を得ており、シェアも高く、安心して導入できることも評価ポイントでした。設定を変更するだけで仮想デスクトップモード（VDI）を追加することが可能ですし、VMware Horizonを選択することが最善と考えました」（高森氏）

ワークスタイルが変革 外勤スタッフの業務生産性が大きく向上

VMware Horizonの導入に関しては、CTCの

仮想プライベートクラウドサービスを活用し、2014年10月から約3ヶ月という非常に短期間での導入が求められていましたが、CTCの手厚い支援もあり、2015年1月には約2,000名の外勤スタッフにVMware Horizon環境を提供することができました。そして、その導入後の効果はすぐにあらわれました。

「導入後すぐに、開発担当者やスーパーバイザーから積極的に使われています。大きなトラブルやクレームもなく、インフラとして十分に機能していることがわかります。心配していたネットワークの負荷も問題にならず、安定的な運用ができています」と、高森氏はその効果を話します。

さらに、高森氏は外勤スタッフの働き方が変わったことによる効果もこのように評価します。

「外勤スタッフが、これまで紙で持ち運んでいた資料は、安全にタブレット端末から扱えるようになり、ペーパーレス化が着実に進んでいます。業務報告などの入力も外出先からできるようになったことで、そもそも移動時間の長かったスーパーバイザーにとっては、直行直帰という働き方も増え、業務生産性が上がりつつあります。こうしたワークスタイルを変革することは、外勤スタッフの業務効率をあげると同時に、働くモチベーション向上にも繋がっていると聞いています。それは店舗運営のサポートの品質向上にも繋がり、ひいては店舗売上向上に貢献するものと確信しています」

今後、同社はiPadへのアプリケーション配信だけでなく、VMware Horizonをそのまま活用して、約4,000名の社員が利用するPC環境のVDI化も検討しています。それによって、全社規模でのワークスタイル変革も見込んでおり、さらなる業務生産性向上、セキュリティ強化、事業継続性確保などを期待しています。今後も同社では、VMwareテクノロジーを最大限に活用して、“次世代のコンビニづくり”を進めていく予定です。



図：VMware Horizonの導入効果

vmware®